四季の森公園 自然観察会「公園で見られるシダの生態」

四季の森公園里山研究会 上野・松崎・武本・青木

4億年以上前に水中生活から陸上生活に適応して出現したシダは、形を変えながらも生き残ってきました。 四季の森公園内のシダたちは、この時期、どんな場所でどんな表情を見せてくれるでしょうか。 生き生きした葉の表面、ソーラスがついた葉の裏面、そしてシダのある景色など、楽しく観察しましょう。 できたら5種類くらいはシダの名前を覚えてみましょう。

- ★シダの特徴:花が咲かない、維管束がある、胞子で繁殖、配偶 体と胞子体2つの世代がある
- ★シダ植物の種類:世界に約1万種、日本には700~800種
- ★シダの構造

葉身、葉軸、葉柄、根茎、根、羽片、羽軸、小羽片、鱗片

★シダを見分けるポイント

大きさ、葉の形(単葉、羽状複葉)、ソーラス(胞子嚢群)* の形・色、包膜(ソーラスを被う膜)の有無・形、鱗片、根茎など

*: 胞子嚢が多数集まる部分。 胞子嚢の中に胞子が入っている



★四季の森公園で見られる主なシダ

名前	季節型	主な特徴	包膜	ソーラスの形
ベニシダ	常緑性	若い葉は全体的に紅く、裏のソーラスも紅(あか) い。	あり	円腎形
		最下羽片の下側第一小羽片が小さい		
リョウメンシダ	常緑性	表と裏(両面)が同じよう。表が裏のように見える	あり	円腎形
イノデ	常緑性	鱗片に被われた新芽が「猪の手」に似る?雑種が多い	あり	円形
ノキシノブ	常緑性	単葉。茅葺屋根の軒先や古木に生育。乾燥すると縮む	なし	円形
ミゾシダ	夏•常緑性	全体に(葉軸、羽軸も)細かい毛に被われている	なし	線形、八の字
イヌシダ	夏•常緑性	全体に白く細かい毛が密生。胞子葉は立ち上がる	あり	コップ形
ジュウモンジシダ	夏•常緑性	葉が十文字となる。新芽のおひたしはおいしいとか	あり	円形
イヌワラビ	夏緑性	どこにでも生えるが変化も多い。軸が紅紫色を帯びる	あり	線形
ゲジゲジシダ	夏緑性	ゲジゲジのような形。羽片と羽片の間に翼あり	なし	円形
ゼンマイ	夏緑性	芽立ちは食用。巻いた若葉が古銭の大きさなので銭巻	二形性(栄養葉と胞子葉)	
オオハナワラビ	冬緑性	胞子葉は花茎のように伸び、秋から冬に胞子を出す	二形性(栄養葉と胞子葉)	

★シダと生活の関係

日頃の生活の中でシダとはあまり関わりがないと思っている人が多いと思いますが、山菜の王様であるゼンマイやワラビを食べない人は少ないのでは? シダと人との関係について少し紹介します。

★スギナもシダの仲間

「ツクシ誰の子スギナの子」という童謡がありますが、ツクシとスギナの間には親子関係はありません。 ツクシ(胞子茎)は繁殖を担当し、スギナ(栄養茎)は栄養面を担当していると言われています。

★シダクイズ

本当にあるシダは? 1.ネコシダ、2.ネコジタ、3.イヌシダ、4.スズメシダ、5.クジャクシダ

※ 次回は、2012年7月8日(日): テーマは「巨木発見」です。是非ご参加ください。

シダクイズ答え: 3.イヌシダ、5.クジャクシダ